

日高軽種馬農業協同組合  
HBA 日高軽種馬農業協同組合  
☎0146-22-2258 FAX 22-3452

令和7年11月10日  
第 416 号

## 北海道市場全日程終了!! オータムセール

本年度の北海道市場が全日程を終了。売上総額は、184億6,317万円となり、3年連続で180億円台となった。(市場成績については5頁参照)。今年のオータムセールは10月13日～14日開催された。本年は455頭の名簿掲載頭数で423頭が上場、304頭(牡130頭、牝174頭)が売却となり売却率は71.87%、売上総額は10億3,136万円(以下、すべて税込)、平均価格は339万円、中間価格は302万円だった(比較については次頁参照)。最高取引価格となったのは、上場番号266番サンギネア2024(牡、門別・新井昭二牧場(敬称略。以下同じ))の1,375万円だった。オータムセール出身馬は今年の阿蘇ステークス(OP)を制したローズスター号をはじめ、ギガキング号やシルトプレ号など獲得賞金1億円を超える活躍馬を輩出している。

初日は、173頭が上場となり4億7,025万円の売上となった。売却率は74.57%だった。この日の最高取引馬価格馬となったのはモーニン産駒の上場番号128番ハッピーユージェント2024(牡、門別・前川直美)が1,045万円で取引された。

2日目は再申込馬から構成され、250頭が上場し5億6,111万円の売上となった。売却率は70.00%で最高取引価格馬となったのはルーラーシップ産駒のサンギネア2024(牡、門別・新井昭二牧場)が1,375万円で取引された。他にもカリフォルニアクローム産駒の上場番号331番

ハヤブサレディゴー2024(牝、2024(牝、静内・(有)グランド牧場)が牝馬最高取引価格(全体2位)となる1,100万円で取引された。

古川組合長は「1年せりが終わりほっとしている。売却率を大事にしたいと考えているが、オータムセールに限って言えば売却率、売上総額を下げってしまった。70%の売却率は良かったと思う。今後も売却率を下げない運営をしたい。近年は日本産、日本調教馬が海外で活躍するケースも増えており、市場開催者としては海外に対してもプロモーションを行っている。こういった活動を通して海外からも参加しやすい市場にしたいと考えている。今回の結果を踏まえ、来年度の市場日程を市場委員会で話し合って決めたい。」と総括した。



最高取引価格馬:サンギネア2024  
門別:新井昭二牧場

## 【オータムセール 5年間の比較】

|        | 令和7年 |               | 令和6年 |               | 令和5年 |               | 令和4年 |               | 令和3年 |               |
|--------|------|---------------|------|---------------|------|---------------|------|---------------|------|---------------|
| 平均価格   | ↓    | 3,392,632     | ↗    | 4,001,103     | ↗    | 3,977,000     | ↗    | 3,926,231     | ↗    | 3,646,436     |
| 中間価格   | ↓    | 3,025,000     | ↗    | 3,520,000     | ↓    | 3,135,000     | ↗    | 3,300,000     | ↓    | 2,970,000     |
| 出場頭数   | ↗    | 423           | ↓    | 339           | ↗    | 435           | ↓    | 426           | ↓    | 457           |
| 売却頭数   | ↗    | 304           | ↓    | 281           | ↗    | 330           | ↓    | 329           | ↓    | 348           |
| 売却率    | ↓    | 71.87%        | ↗    | 82.89%        | ↓    | 75.86%        | ↗    | 77.23%        | ↓    | 76.15%        |
| 売上総額   | ↓    | 1,031,360,000 | ↓    | 1,124,310,000 | ↗    | 1,312,410,000 | ↗    | 1,291,730,000 | ↗    | 1,268,960,000 |
| 購買登録者数 | ↗    | 1,078         | ↓    | 1,077         | ↓    | 1,086         | ↗    | 1,095         | ↗    | 1,058         |
| 購買実績   | ↓    | 238           | ↓    | 245           | →    | 258           | ↗    | 258           | ↓    | 242           |

※ 単位（円、頭、名）、価格は税込、矢印は前年対比

## サマーセール

今年の北海道市場サマーセールは8月18日(月)～23日(土)までの6日間開催で行われた。売上総額は84億2,490万円(以下、全て税込み)、平均価格は780万円、中間価格572万円、売却率は77.63%となり、売上総額はサマーセールの過去最高を記録した。（比較については次頁参照）

本セール出身馬が今年も活躍しており、1月にはサンデーファンデー号がプロキオンステークス(GII)を制し、3月にはファウストラーゼン号が弥生賞ディープインパクト記念(GII)で優勝した。セール前日に行われた札幌記念(GII)ではトップナイフ号が勝利した。他にも重賞戦線でも活躍馬を輩出している。

こうした要因も相まってか、購買登録者は1,751名、内オンライン登録者数は121名と過去最高の購買登録数を記録した。

そのようななか上場頭数は1390頭、内1079頭（牡632頭・牝447頭）が取引された。

初日は、237頭が上場し187頭が取引され、売却率は78.90%となった。この日の最高取引価格馬はフィレンツェファイヤ産駒の上場番号152番メリーウェザー2024（牡、門別・シンボリ牧場（敬称略。以下同じ））と、カラヴァッジオ産駒の上場番号178番アンフレシェ2024（牡、荻伏・(有)小島牧場）と、モズアスコット産駒の上場番号213番エヴァ2024（牡、三石・斎藤スタッド）の3頭が3,300万円で取引された。牝馬の最

高取引価格馬はカラヴァッジオ産駒のコトブキアルニラム2024（胆振・(有)笹川大晃牧場）が1,870万円で取引となった。

2日目は、227頭が上場し183頭が取引され、売却率は80.62%となった。この日の最高取引価格馬はデクラレーションオブウォー産駒の上場番号386番マルキーズ2024（牡、新冠・(有)カミイスタット）が3,300万円で取引された。牝馬の最高取引価格馬はカラヴァッジオ産駒のアズマクィーン2024（門別・木村牧場(有)）が2,530万円で取引され好評価を得た。

3日目は、237頭が上場し170頭が取引され、売却率は71.73%となった。この日の最高取引価格馬はカラヴァッジオ産駒の上場番号524番ダノニー2024（牡、門別・(有)いとう牧場）が3,410万円で取引され、カラヴァッジオ産駒は人気を集めていた。牝馬の最高取引価格馬はオルフェーヴル産駒のカタールパワー2024（門別・(有)エトルタファーム）が1,980万円で取引となった。

4日目は、228頭が上場し187頭が取引され、売却率は82.02%となった。この日の最高取引価格馬はベストウォーリア産駒の上場番号967番グリントソーロ2024（牡、鹿児島・東桂木慎吾）が3,960万円で取引された。他にも上場番号889番アヴェクトワ2024（浦河・(有)宮内牧場）、上場番号977番コンゴウレイワ2024（浦河・(有)まるとみ富岡牧場）が3,410万円で取引されるなど、

活発なセリが続いた。牝馬の最高取引価格馬はインディチャンプ産駒のブーケトウショウ2024（荻伏・村下清志）が1,980万円で取引された。

5日目は、231頭が上場し187頭が取引され、売却率は80.95%となった。この日の最高取引価格馬はデクラレーションオブウォー産駒の上場番号1094番マーレグリーン2024（牡、新冠・（株）ハクレイファーム）が5,500万円で取引され、今年のサマーセールの最高取引価格馬となった。デクラレーションオブウォーの産駒は今年に入りシランケド号が中山牝馬ステークス(GⅢ)を勝利、セキトバイースト号が府中牝馬ステークス(GⅢ)を勝利、そしてトップナイフ号が札幌記念(GⅡ)を勝利するなど、いずれも北海道市場取引馬が好調で本セールでも人気を集めた。牝馬の最高取引価格馬はホッコータルマエ産駒のナリタブルースター2024（浦河・中脇栄）が2,860万円で取引され、これがサマーセール牝馬の最高取引価格馬となった。

土曜日開催となった最終日の6日目は、230頭が上場し165頭が取引され、売却率は71.74%となった。この日の最高取引価格馬はヘニーヒューズ産駒の上場番号1312番ブレイジング2024（牡、静内・（株）チャンピオンズファーム）が3,410万円で取引された。牝馬の最高取引価格馬はフォーウィールドライブ産駒のエイシンスイーツ2024（浦河・（有）富田牧場）が2,420万円で取引された。

団体購買は、JRA日本中央競馬会が37頭(牡18頭・牝19頭)を総額318,890,000円で購買した。

古川組合長は「年間の市場スケジュールが昨年と

異なるので単純に比較はできないが、上場頭数の増加が売り上げ増につながったのは間違いありません。それでもたくさんの方に興味を持っていただき、多くのご購買をいただいたことに感謝したい。8月に入ってからサマーセール取引馬がエルムステークス(GⅢ)、レパードステーク(GⅢ)、そして札幌記念(GⅡ)に勝利したことも追い風になったと思うが、いい馬を市場に上場いただいた販売申込者の方々にも感謝したい。また、今年も昨年に引き続き6日間開催となったが、生産頭数が増え、特にサマーセールに対するニーズが高まっており、その対策は課題と認識している。一方、オンラインビットはだいぶ浸透してきた印象がある。利用方法は人それぞれだと思うが導入してよかったと感じている。」と語り「セプテンバーセールには、さらに成長を遂げた1歳馬が上場されます。購買者の皆さまの参加をお待ちしております。」と呼びかけていた。



最高取引価格馬：マーレグリーン2024  
販売申込者：（株）ハクレイファーム

### 【サマーセール（サラ1歳） 5年間の比較】

|        | 令和7年 |               | 令和6年 |               | 令和5年 |               | 令和4年 |               | 令和3年 |               |
|--------|------|---------------|------|---------------|------|---------------|------|---------------|------|---------------|
| 平均価格   | ↗    | 7,808,063     | ↓    | 7,302,559     | ↗    | 7,733,474     | ↗    | 7,332,682     | ↓    | 6,884,860     |
| 中間価格   | →    | 5,720,000     | ↓    | 5,720,000     | ↗    | 5,830,000     | →    | 5,500,000     | →    | 5,500,000     |
| 出場頭数   | ↗    | 1,390         | ↓    | 1,187         | ↗    | 1,368         | ↓    | 1,237         | ↗    | 1,336         |
| 売却頭数   | ↗    | 1,079         | ↓    | 977           | ↗    | 1068          | ↓    | 958           | ↗    | 1004          |
| 売却率    | ↓    | 77.63%        | ↗    | 82.31%        | ↗    | 78.07%        | ↗    | 77.44%        | ↓    | 75.15%        |
| 売上総額   | ↗    | 8,424,900,000 | ↓    | 7,134,600,000 | ↗    | 8,259,350,000 | ↗    | 7,024,710,000 | ↗    | 6,912,400,000 |
| 購買登録者数 | ↗    | 1,751         | ↓    | 1,639         | ↗    | 1,657         | ↗    | 1,523         | ↓    | 1,376         |
| 購買実績   | ↗    | 646           | ↓    | 589           | ↗    | 628           | ↗    | 563           | ↗    | 529           |

※ 単位（円、頭、名）、価格は税込、矢印は前年対比

# セプテンバーセール

9月15日～17日、セプテンバーセールが開催された。本年は586頭（セレクションセールで欠場・主取となった馬の再申込馬30頭含む）の名簿掲載頭数で534頭が上場、427頭（牡178頭、牝249頭）が売却となり売却率は79.96%、売上総額は21億8,845万円（以下、すべて税込）、平均価格は512万円、中間価格は440万円だった（比較については次頁参照）。最高取引価格となったのは、上場番号191番ブロンシェダーム2024（牝、三石・ヒサイファーム（敬称略。以下同じ））の2,420万円だった。

セプテンバーセール取引馬は、レーベンスティール号をはじめ、今年の米子城ステークス（OP）を制したカルチャーデイ号や、JpnI さきたま杯で2着のムエックスなど、JRA・JPN問わず活躍馬を多数輩出。

初日は、174頭が上場となり6億3096万円の売上となった。売却率は72.99%だった。最高取引馬は全体の最高取引価格馬となったエフフォーリア産駒の上場番号191番ブロンシェダーム2024（牝、三石・ヒサイファーム）が2,420万円で取引された。また、サマーセールでも人気のデクラレーションオブウォー産駒の上場番号39番レオフラッパー2024（牝、浦河・（有）谷口牧場）が1,870万円で取引された。

2日目は、179頭が上場となり、8億25万円の売上となった。この日の売却率は84.92%で、売上・売却率ともに高い記録となった。この日の最高取引価格馬は、マジスティックウォリアー産駒の上場番号347番ピッパレジーナ2024（牡、浦河・（有）宮内牧場）が1,760万円で取引された。

3日目は、181頭が上場となり、7億5,724万円の売上となった。売却率は81.77%と前日に引き続き80%を超える売却率を記録した。

この日の最高取引馬はエフフォーリア産駒の上場番号489番サトノオニキス2024（牡、門別・（株）オリオンファーム）が2,310万円で取引され全体の取引価格2位となった。エフフォーリアの産駒が牡馬、牝馬ともに最高取引価格馬となった。他にも前日に引き続き、マジスティックウォリアーの産駒である上場番号498番ジュリエットパール2024（牡、浦河・（有）酒井牧場）が1,980万円で取引されるなど高評価を受けていた。

古川組合長は「初めて参加された方も含め、多くの購買登録者の方々にご参加いただき盛況な市場となったと思う。数字については、昨年と年間のセール日程が異なるので単純な比較は出来ないが、かねてより上場適期について再三アナウンスしてきたので、サマーセールを超える売却率を記録することが出来たのは嬉しい限り。これら取引馬の活躍をお祈り申し上げるとともに、来月に行われるオータムセールについても活発な市場を期待したい。」とセールを振り返った。



最高取引価格馬：ブロンシェダーム2024  
三石：ヒサイファーム

【セブテンバーセール(サラ1歳) 5年間の比較】

|        | 令和7年 |               | 令和6年 |               | 令和5年 |               | 令和4年 |               | 令和3年 |               |
|--------|------|---------------|------|---------------|------|---------------|------|---------------|------|---------------|
| 平均価格   | ↓    | 5,125,176     | ↓    | 5,256,923     | ↗    | 5,754,477     | ↗    | 5,064,527     | ↓    | 4,884,827     |
| 中間価格   | →    | 4,400,000     | →    | 4,400,000     | ↗    | 4,400,000     | ↗    | 4,180,000     | ↓    | 3,575,000     |
| 出場頭数   | →    | 534           | ↗    | 534           | ↗    | 532           | ↗    | 531           | ↓    | 478           |
| 売却頭数   | ↓    | 427           | ↗    | 429           | ↓    | 402           | ↗    | 413           | ↓    | 346           |
| 売却率    | ↓    | 79.96%        | ↗    | 80.34%        | ↓    | 75.56%        | ↗    | 77.77%        | ↓    | 72.38%        |
| 売上総額   | ↓    | 2,188,450,000 | ↓    | 2,255,220,000 | ↗    | 2,313,300,000 | ↗    | 2,091,650,000 | ↓    | 1,690,150,000 |
| 購買登録者数 | ↗    | 1,246         | ↗    | 1,137         | ↓    | 1,134         | ↗    | 1,136         | ↗    | 1,002         |
| 購買実績   | ↓    | 314           | ↗    | 326           | ↗    | 283           | ↗    | 280           | ↓    | 231           |

※ 単位（円、頭、名）、価格は税込

【北海道市場 5年間の比較】

|      | 令和7年 |                | 令和6年 |                | 令和5年 |                | 令和4年 |                | 令和3年 |                |
|------|------|----------------|------|----------------|------|----------------|------|----------------|------|----------------|
| 平均価格 | ↓    | 8,446,098      | ↗    | 8,748,718      | ↗    | 8,678,756      | ↗    | 8,021,238      | ↗    | 7,331,614      |
| 出場頭数 | ↗    | 2,804          | ↓    | 2,630          | ↗    | 2,746          | →    | 2,629          | ↗    | 2,629          |
| 売却頭数 | ↗    | 2,186          | ↓    | 2,160          | ↗    | 2,162          | ↗    | 2,059          | ↗    | 1,983          |
| 売却率  | ↓    | 77.96%         | ↗    | 82.13%         | ↗    | 78.73%         | ↗    | 78.32%         | ↓    | 75.43%         |
| 売上総額 | ↓    | 18,463,170,000 | ↗    | 18,897,230,000 | ↗    | 18,763,470,000 | ↗    | 16,515,730,000 | ↗    | 14,538,590,000 |

※ 単位（円、頭）、価格は税込、矢印は前年対比

厚生労働省北海道労働局からのお知らせ

時間額 1,010円から時間額 1,075円に値上げとなりました

北海道最低賃金

北海道において事業を営む全産業の使用者及びその者に使用される労働者

（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む。）使用される労働者に適用されます。

最低賃金額                      時間額                      1,075円

効力発生年月日    令和7年10月4日

## 理事会の内容について

### 【第7回理事会】

◇令和7年6月11日 書面決議

#### 〈議 案〉

1. 市場業務規程の一部変更について

### 【第8回理事会】

◇令和7年8月7日 13時30分 静内支所

#### 〈報告事項〉

1. 第5回、第6回、第7回市場委員会の内容について
2. HHT北海道軽種馬貿易(株)定期株主総会の内容について
3. 自由民主党競馬推進議員連盟第33回勉強会の内容について
4. (一社)北海道軽種馬振興公社第49回通常総会、第2回理事会の内容について
5. 第2回JBBA理事会の内容について
6. 第1回軽種馬海外流通促進事業会議の内容について
7. 軽種馬生産構造改革推進会議総会の内容について
8. 日高軽種馬振興対策推進協議会令和7年度定期総会の内容について
9. 第6回、第7回総務・診療委員会の内容について
10. 総代選挙の結果について
11. 人事異動の内容について

#### 〈議 案〉

1. 組合員の加入について
2. 中間監査について
3. 給与規程の一部改正について

#### 〈協議事項〉

1. その他

### 【第9回理事会】

◇令和7年10月23日 14時00分 静内支所

#### 〈報告事項〉

1. 第3回、第4回業務配合委員会の内容について
2. 第8回、第9回市場委員会の内容について
3. JBBA第3回理事会、第4回理事会の内容について
4. JBBA第1回種牡馬管理配合委員会の内容について
5. 第1回生産等に関する協議会の内容について
6. 第8回、第9回総務・診療委員会の内容について

#### 〈議 案〉

1. 組合員の加入について
2. 大雨、強風被害(9月21日発生)の見舞金の支出について
3. 給与規程の一部変更について

#### 〈協議事項〉

1. その他

## 早期の乳房の腫れについて

門別診療所 三浦 耀平

朝はかなり冷え込む季節になり、牧場では離乳もだんだんと落ち着いてくる頃かと思います。この時期、母馬の乳房が腫れてくることがあります。そんな時どのような病気が考えられるのでしょうか。以下に主なものを紹介したいと思います。



### ●乳房炎

乳腺が細菌感染することによって起こります。意外にも、離乳直後よりかは、その数週間後における発生頻度が高いです。乳房は硬く腫脹し、触ると嫌がる様子を見せます。乳汁は正常よりも黄色を呈し膿のようになることがあります。また発熱、食欲不振といった全身症状、酷い場合では後肢の跛行を示します。臨床症状から診断出来る場合が多いですが、分かりづらければ血液検査や乳房のエコー検査が補助的に行われます。乳汁を採取し検査することで、原因菌に対してどの抗生剤が効果を示すのか判定させても良いでしょう。治療は抗生物質や非ステロイド性抗炎症薬を投与する他、頻繁な搾乳も効果的です。乳房炎軟膏を注入される際は少し乳を搾ってから入れると入れやすいですが、馬は他の動物種に比べて乳頭口が小さく、無理に入れようとすると馬も嫌がり、乳頭を傷つけたり、人もケガをしかねないので注意して行いましょう。離乳後の飼料摂取量の削減や乳房を清潔に保つことは予防に繋がると考えられます。



写真 乳房炎罹患馬の乳汁 左:正常 右:乳房炎

### ●胎盤炎

陰部から子宮へと侵入した細菌や真菌が胎盤に感染することで炎症を起こし、流産の原因となる病気です。落ちた胎盤は正常と比較し黄色～茶色くらいの変色があります。症状としては、乳房の腫れの他に、乳もれや外陰部からの滲出液を認める場合があります。但し、本疾病ではこれらの症状を示さないまま突然流産する症例にも遭遇します。よって、症状が見られる前から早期発見、予防する事が大切であると言えるでしょう。具体的にはエコー検査により子宮頸管に近い所の胎盤の厚みを測定したり、母馬の血中のホルモン値を測定したりする事で診断が可能です。過去に流産歴のある馬や高齢により陰部の形が悪く、感染リスクの高い馬は今述べたような検査を定期的に行うと良いかと思います。治療には主に抗菌剤、子宮収縮抑制剤、黄体ホルモン製剤が用いられます。離乳後も母馬の乳房のこまめなチェックがかかせません。早期の乳房の腫脹が見られたら、それ以外に現れている症状をみながら病気を判別し、対処していきましょう。

# 強い馬づくりのための 生産育成技術講座2025



© 2003 SANRIO CO., LTD.

J R A日高育成牧場では、軽種馬の生産育成にたずさわる皆様への情報提供・技術普及を目的として本講習会を開催しています。皆様のご来場をお待ちしております。

## ＜講演内容＞

### 『日高育成牧場の調教法2025』

遠藤 祥郎 （J R A日高育成牧場）

### 『当歳馬の感染症（対策と最新情報）』

丹羽 秀和 （J R A日高育成牧場）

## 開催日時および場所

① 2025年11月17日（月） 18:00-20:00

浦河町 浦河総合文化会館 ・ 4階 文化ホール

② 2025年11月18日（火） 18:00-20:00

日高町 富川複合施設「とみくる」・ふれあいホール

主 催： J R A日高育成牧場

日高軽種馬生産振興会青年部連合会

後 援： 日高軽種馬農業協同組合

問い合わせ：日高育成牧場 生産育成研究室(Tel：0146-28-2084)